

関越自動車道直結型

スマートインターチェンジの設置を検討。

高崎駅東口から東へ延びる東毛広域幹線道路（国道354号バイパス）の延長線上には、関越自動車道が南北に走り交差しています。

市は、この地点に関越自動車道へ直接出入りができ、全車種が利用することができる本線直結型のスマートインターチェンジの設置に向け、関係機関と協議を進めています。

設置を検討している地点は、北関東自動車道との分岐点・高崎ジャンクションと上信越自動車道との分岐点・藤岡ジャンクションとの間に位置し、市内中心部から車で10分程度の距離にあります。

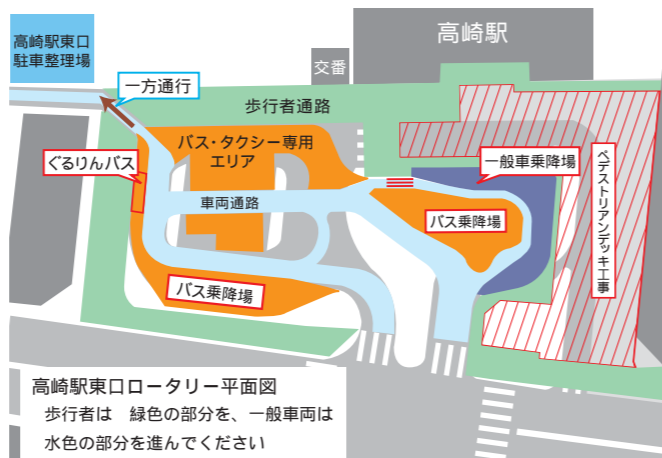
平成23年には北関東自動車道の全線開通、北陸新幹線も金沢市までの延伸が予定されています。高崎駅から約10分という場所に高速道路の出入り口ができることで、高速道路網を利用して首都圏と信越、北陸地方を「高崎」を中継地点として結ぶことができます。

スマートインターチェンジが設置されると、高速道路網と新幹線を組み合わせて利用することにより、交通手段が多様化し、集客範囲の拡大や高崎駅の利用者の増加など影響は多岐にわたり、さまざまな産業の可能性が広がります。



スマートインターチェンジとは？

スマートインターチェンジは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアなどから高速道路へ出入りができる施設で、通行可能な車両をETC（ノンストップ料金収受システム、スマートインターチェンジでは一旦停止）を搭載した車両に限定するため、簡易な料金所の設置で済み、建設コストやランニングコストを抑えることができるインターチェンジです。



市は、高崎駅東口のペデ建造工事を始めるため、十二月十七日から東口駅前ロータリーの形状を変更します。この形状は、来年六月末まで続きます。

ペデ建造工事を始めるため、十二月十七日から東口駅前ロータリーの形状を変更します。この形状は、来年六月末まで続きます。

高崎駅東口のペデ建造工事は、市ホームページの都市施設課ページ（<http://www.city.takasaki.gunma.jp/soshiki/toshisetsu/>）で最新の情報を公開する予定です。問い合わせは、都市施設課（321-1270）へ。



駅東口から主要都市へ向う高速バス

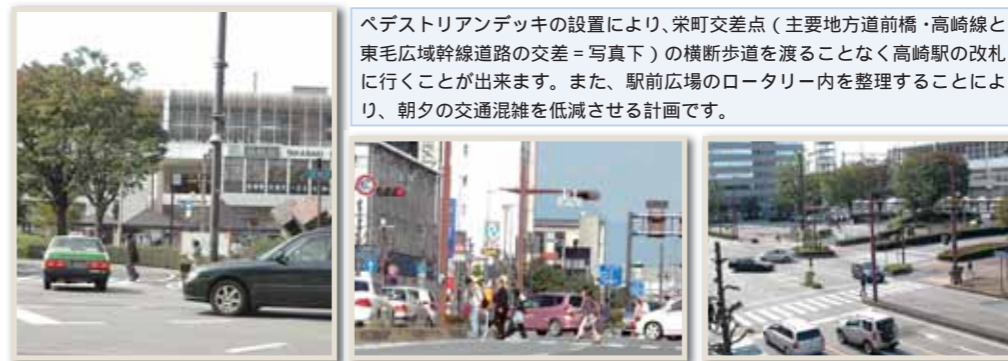
これらの高速バスの路線が拡大し、現在検討中のスマートインターチェンジが設置されると、新幹線と高速道路を利用した、高速交通網が構築されることとなります。

ペDESTリアンデッキ築造工事に伴い、東口駅前ロータリーの形状が変わります。

市は、高崎駅東口のペデ建造工事を始めるため、十二月十七日から東口駅前ロータリーの形状を変更します。この形状は、来年六月末まで続きます。

駅東口に高速バスターミナルを設置。

高速道路を直結した路線バスの発着所、高速バスターミナルを東口駅前広場に隣接して建築中の家電量販店の本社ビル一階に設置します。



高崎の玄関口として、東口ペDESTリアンデッキを築造します。

十二月中旬に工事の始まる、JR高崎駅東口のペDESTリアンデッキ（以下「ペデ」と言う）は、主要地方道前橋・高崎線（東三条通り）の上を通り、高崎駅舎と来年夏開業予定の家電量販店の本社ビル、さらに高崎タワー21を結びます。一部は来年六月末を目途に、そのほかを平成二十一年度末を目標に整備し、平成二十二年以降には、高崎タワー21から東毛広域幹線道路（国道354号バイパス）を挟み、高崎イーストセンタービルまでつなぎます。将来的には、駅舎と高崎イーストセンタービルを直結する新たなデッキを築造し、地上に降りることなく駅前広場を周回できます。

高崎の新しい玄関口として
ペDESTリアンデッキと高速バスターミナルを整備。
高崎駅東口が変わります。

市は、東口駅前広場に築造するペDESTリアンデッキの工事を十二月中旬に始めます。平成二十一年度には同広場に高速バスターミナルを建設します。JR高崎駅東口は生まれ変わります。問い合わせは、都市計画課（321-1269）へ。